

雄大な大地と美しい水、きれいな空気。豊かな自然の中で育てられる安全安心な農産物は、わたしたちの大切な財産です。

熊本県では、生産量が日本一のスイカ、トマト、い草、甘夏みかん、不知火(デコポン)、宿根カスミノウをはじめ、多彩な農産物が作られています。また、土づくり、減農薬、減化学肥料に取り組む「エコファーマー」の認定者数が全国1位など、安全や環境に配慮した農業を進めています。一方、多様な消費者ニーズに対応できる農産物づくりなど、新たな展開が求められています。

そこで、県と農業団体などでは、一緒になって、「もう一口!大きくなろう」をキャッチフレーズに、次の3つを柱とする「元気人気くまもと農業運動」に取り組んでいます。



熊本の農産物

元気人気くまもと農業運動 合言葉は「挑戦と連携」

～「くまもとの新しい農業のカタチ」を一緒につくっていきましょう～

特色ある農産物づくりによる「くまもと農業の元気づくり」の推進

「安全安心な農産物づくり」を基本に、新しい販売流通の方法を取り入れながら、個性ある農産物や地域特産品など特色ある農産物づくりを進めます。



温州みかん「肥のあかり」



「サラダたまねぎ」

ヤーコン
(野菜の一つ)いちご「ひのしずく」
の収穫

安全・環境に配慮した「くまもとグリーン農業」の推進

食の安全や環境問題に対する関心が高まる中、自然との共生を目指し、減農薬、減化学肥料栽培や家畜排せつ物堆肥の有効活用など安全や環境保全を重視した農業を進めます。

黄色蛍光灯
設置ハウス

黄色蛍光灯の設置により、夜行性の害虫の侵入を防ぎ、減農薬につながっています。

堆肥の散布
牛や豚などの家畜排せつ物を堆肥にし、田畑に散布することで、資源の有効活用と土づくりを行います。



生産者と消費者の共生による「くまもと食・農ルネサンス」の推進



子どもたちの稲刈り体験



「くまもと食の名人」による郷土料理教室

農業・農村の持つ魅力や役割をあらためて見直し、地産地消の推進や食文化の継承、都市と農村の交流を進めます。

この運動のシンボルマークは、阿蘇山と、そのすそ野に広がる農地を描き、豊かな水と大地、変化に富んだ地形を表しています。また、笑顔と新芽を組み合わせ、くまもと農業の再生と飛躍もイメージしています。



シンボルマーク

元気いっぱい 人気広がる くまもと農業!!